

# 一般質問通告表

平成17年第3回沖縄県議会(定例会)

07月05日(火)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
1	17分	新川 秀清(護憲ネットワーク)	知事 関係部局長
質 問 要 旨			
1	知事の政治姿勢について		
(1)	「米軍再編に対する沖縄県の対応について」今後の具体的な取り組みについて伺いたい。		
(2)	普天間基地の嘉手納統合について三連協初め近隣市町村議会も統合反対の意思を明確にしています。知事の所見を伺いたい。		
(3)	都市型戦闘訓練施設での実弾訓練を実施する方針だと報じられていますが、かかる事態に知事はどう対処されますか伺いたい。		
2	基地問題について		
(1)	嘉手納基地周辺の騒音測定調査について		
ア	県や関係市町村との調整はどうなっているか。		
イ	測定箇所や調査期間は。		
ウ	調査を実施している団体はどこか。		
エ	防音対策や周辺市町村への影響が懸念されるが、対応策はあるのか。		
(2)	軍用地の国有化について		
ア	軍用地の国有化が進んでいる(2002年5月19日付沖縄タイムス)との報道がありましたが、その後事態はさらに進んでいると言われています。実態はどうか。		
イ	国が買収した土地について「提供土地等買収要領」第2条(適用範囲)第1号から第8号までの内訳はどうなっているか。		
ウ	整理縮小や跡利用への支障にならないか。		
(3)	米海兵隊水陸両用車沈没事故について		
ア	県の対応について		
イ	サンゴ礁等の破壊や油漏れによる漁場への影響はどうなっているか。		
ウ	事故車両の引き揚げの見通しはどうなっているか。		
3	福祉行政について		
(1)	「県立社会福祉施設」の沖縄県社会福祉事業団への譲渡について		
ア	沖縄県社会福祉事業団が、本土との格差是正や本県の福祉施策の充実に果たした役割をどう評価しているか。		
イ	平成16年3月にまとめたとされる中間報告「支援策を講じた上で事業団への一括譲渡」を「公募による有償譲渡」に変更した理由は何か。		
ウ	社会福祉サービスの基本理念に照らして事業団への譲渡に問題があるのか。		
(2)	介護保険法改正について		
	10月から実施される特別養護老人ホーム等3施設入所者の食費、居住費自己負担について、県の対応策を伺いたい。		
(3)	障害者自立支援法案について、障害者団体や識者から多くの問題点が指摘されている。県の見解を伺う。		

- 4 土木行政について
  - (1) 比謝川河川の整備の進捗状況について
  - (2) 県道24号線の歩道整備について
- 5 我が会派の代表質問との関連について

# 一般質問通告表

平成17年第3回沖縄県議会(定例会)

07月05日(火)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
2	17分	赤嶺 昇(維新の会)	知事
質 問 要 旨			
1	知事の政治姿勢について		
	(1) 来年の知事選挙に対する稲嶺知事の決意を伺う。		
	(2) 稲嶺知事が誕生してから未達成の選挙公約を伺う。		
	(3) 憲法改正について知事の所見を伺う。		
	(4) 憲法9条改正について知事の所見を伺う。		
	(5) 沖縄県は中国との関係をどのように位置づけているのか知事の所見を伺う。		
	(6) 中国の反日デモについて知事の所見を伺う。		
	(7) 日中関係の悪化は沖縄にどのような影響を及ぼすのか知事の所見を伺う。		
	(8) 小泉総理の靖国参拝に対する知事の所見を伺う。		
	(9) 稲嶺知事は県外・国外に沖縄戦の歴史をどう伝えてきたか。その成果を伺う。		
	(10) 在日米軍の再編問題について		
	ア 知事訪米の成果と課題を伺う。		
	イ 知事訪米の際に翁長那覇市長も同行したそうですが、普天間基地を抱える一番の当事者である伊波宜野湾市長にも同行を呼びかけたのかを伺う。		
	ウ 知事は海兵隊の県外移転を求めながら、普天間基地の辺野古移設を求めましたが、その際の米関係者の反応を伺う。		
	エ 普天間基地の辺野古への移設はまだ実現可能なのか。まだ実現可能だとするならば15年の使用期限問題について日米両政府はいつまでに見解を示すのかを伺う。また、名護市が提示している7つの条件はクリアできるのかを伺う。		
	オ 知事は海兵隊の県外移転を求めています。そう求めたからには海兵隊施設の跡地利用計画や基地従業員の雇用対策を県民に示すのが政治家の責任だと思います。前大田県政では基地返還アクションプログラムや国際都市形成構想を策定しました。稲嶺県政では、こうした具体策を示すことは必要不可欠だと思うが、知事の見解を伺う。		
	カ 海兵隊基地の県外移転先について政府は具体的に模索しているのかを伺う。		
	キ 在日米軍再編案がまとまるまでに知事は再度米国に出向く考えはないかを伺う。今度は伊波宜野湾市長とともに普天間基地の早期移設を強く求めたらどうか。		
	ク 知事は日米安保の平等な負担を政府にどう訴えているのか。具体的な成果は得られるのかを伺う。		
	ケ 米軍再編協議が進められている中で、県は政府とのパイプはあるのか、事務レベルでの協議を求めていくべきではないかを伺う。		
	コ 都市型戦闘訓練施設の暫定使用問題について、知事の所見及び今後どう行動するのかを伺う。		
2	二千年札について		
	(1) 普及状況について伺う。		
	(2) 普及が進まない理由を伺う。		

(3) 二千円札は半永久紙幣なのかを伺う。

3 次世代育成支援対策について

(1) 一般事業主の行動計画の策定状況を伺う。

(2) 特定事業主の行動計画の策定状況を伺う。

(3) 次世代ハード交付金を活用してコザ児童相談所への一時保護施設の設置をしてはどうか。

(4) おきなわ子ども・子育て応援プランの策定により少子化に歯どめをかけることができるのかを伺う。

(5) 県内市町村の行動計画の策定状況と完成した成果を伺う。

4 認可外保育への施策について

(1) 認可外保育園の果たしてきた役割を伺う。

(2) 沖縄県で認可外保育園がふえてきた要因を伺う。

(3) 認定保育園制度の創設について

(4) 新すこやか保育サービスの充実策について

5 児童虐待について

(1) 6月24日に発生した児童虐待死事件について伺う。

(2) 今回の事件について県の責任を問う。

(3) 児童相談所の体制は万全かを伺う。

(4) 市町村の窓口体制は万全かを伺う。

(5) 市町村別の児童虐待の状況を伺う。

6 ビジネス支援図書館を開設してはどうか。

7 浦添看護学校の存続について

8 IT関連産業の人材育成について

9 那覇港管理組合の状況について

10 郵政民営化について

11 県立病院について

(1) 病院経営状況と医師の確保について

(2) 北部病院の産婦人科について

(3) 久米島病院の医師の確保について

(4) 県立病院における職員体制及び職員の勤務実態について

# 一般質問通告表

平成17年第3回沖縄県議会(定例会)

07月05日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	當間 盛夫(維新の会)	知事 関係部局長
質 問 要 旨			
1	平和行政について		
(1)	対馬丸記念館について 本年は、戦後60年の節目に当たり、去る大戦を実体験された皆様が減少する中で、平和のとうとさ、戦争の悲惨さを私たちは、後世に正しく伝える責務があります。そこで、伺います。		
ア	県は、対馬丸記念館に対しどのような認識を持ち、何を期待していますか。		
イ	内閣府及び厚生労働省からそれぞれ補助金の16年度、17年度の交付額、交付決定額を示してください。県の支援がない中で、国からの補助金は、全額対馬丸記念館に交付されたと理解していいのか伺う。		
ウ	県は、これまで対馬丸記念館にどのような支援を行ったのか、また今後どのような支援を行うつもりか伺う。		
(2)	旧軍飛行場問題について		
ア	地主会の不満は、昨年4月に出示された報告書から県が全く前に進める姿勢がないことにある。この問題に、県としての責任があると認識されているか伺います。		
イ	振興計画もあと6年である、次年度(18年度)予算獲得への努力をされていることだと思いますが、具体的タイムスケジュールを伺う。		
2	基地問題について		
(1)	フィリピンのアロヨ大統領の「沖縄の軍事演習の移転受け入れ」の意向について知事はどのような対応をするのか伺う。		
(2)	マスコミ報道の「嘉手納基地統合案」は、県に提示があったのか。統合案で、負担軽減が示された場合どうするのか。再編の中で、この案をどのように考えるのか伺う。		
3	振興計画について		
(1)	振興計画の目標値は、公共工事の大幅な減少、観光収入の減少等、厳しい現状があるが、現時点での整合性、これからの対応を伺う。		
(2)	公共工事の大幅な減少は、振興計画の中で予想外と思うが、その穴埋めはどのような政策をもって対応をするのか伺う。		
(3)	ダイナミックな公共工事の展開が必要と考えるが、空港、港湾、新交通システムはどのように進め、対応するのか伺う。		
(4)	平成16年度の国直轄事業、県発注事業の県内、県外企業の受注件数と金額はどのようになっているのか伺う。		
(5)	建設業の異業種への転換にどのような対応をしたのか、建設業者は減少しているのか伺う。		
(6)	県経済の自立のためにも、入札制度の改善策は必要と考えるが対応を伺う。		

# 一般質問通告表

平成17年第3回沖縄県議会(定例会)

07月05日(火)

順位	時間	氏名 (会派)	答弁を求める者
4	17分	呉屋 宏(維新の会)	知事 関係部局長
質 問 要 旨			
1	<p>沖縄と米軍基地について</p> <p>(1) 米軍再編と普天間基地の移設について</p> <p>ア 米軍再編計画は、沖縄の全基地が対象か。</p> <p>イ 米軍再編計画における米国に対する知事の要望をお聞かせください(特に海兵隊以外の対処を具体的に)。</p> <p>ウ 知事の安全保障に対する見解を伺います(特に東アジア情勢とその対処をどのようにすべきか)。</p> <p>エ 基地の管理権を米軍から自衛隊に移管しての継続使用を考えたことがあるか、またその見解をお聞かせください。</p> <p>オ 知事は、普天間基地が県外へ移設できなければ、辺野古にこだわるのか伺います。</p> <p>カ 普天間基地を県内の基地に統合する政府案が出たらそれには反対をするのか明確にお答えください。</p> <p>キ 知事は、今任期中に辺野古海上へのくい打ちができなければ断念として考えてよいか。</p> <p>ク 都市型訓練施設は、米軍再編計画の中で何ゆえ県外への移設要望をしなかったのか伺います。</p> <p>ケ 知事の渡米は、米軍再編計画における基地負担軽減への要望と思うが、市町村との調整は本当に行ったのか(全体的に)。</p>		
2	<p>観光振興について</p> <p>(1) 観光施策について</p> <p>ア 沖縄のDFSギャラリーは順調に推移しているか。</p> <p>イ DFSギャラリーの国際線受取所がないのはなぜか。</p> <p>ウ 観光振興計画の第2次分野別計画がスタートしたが、中期の展望をお聞かせください。</p>		
3	<p>県土木事業について</p> <p>(1) これまで行ってきたインフラの整備状況について</p> <p>ア 本島北・中・南の人口フレームをどのように考えてインフラの整備を行ってきたか、そしてその現状は。</p> <p>イ これまでの埋立事業の現状と今後についての見通しを説明してください。</p> <p>ウ バブル経済が破綻して15年がたちますが、現在進めている計画の洗い直しを行う計画はないか伺います。</p>		
4	<p>市町村合併について</p> <p>(1) 市町村合併の現状について</p> <p>ア 現在進められている合併以外の市町村の対応についての今後の取り組みについて伺います。</p>		

- イ 県も一緒になって進めてきた合併のための法定協議会が取りまとめた、新市(町)計画の県側の努力目標の進捗状況について御説明ください。
- ウ 合併市町村とそれ以外の市町村の今後の予算配分についての見通しを伺います(具体的にお答えください)。

5 少年非行について

(1) 少年非行の対策について

- ア 九州における少年犯罪と沖縄の傾向について説明してください。
- イ 少年犯罪を減少させるための対策について伺います。
- ウ 中学生の犯罪が多いのはなぜか。
- エ 県全体の取り組みを行ったことがあるか。

# 一般質問通告表

平成17年第3回沖縄県議会(定例会)

07月05日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	親川 盛一(県政会)	知事 関係部局長
質問要旨			
1	知事の政治姿勢について		
	(1) 県政運営に当たっての基本的な考え方。		
	ア 米軍基地の再編問題と整理縮小について		
	イ 普天間飛行場の移設に当たっては、SACO合意に基づいて進めていくのか、それとも国外、県外移設の方向で進めていくのか。		
	ウ 靖国神社参拝問題についての知事の所見。		
	エ 北方領土の返還問題についての県の対処方針等について		
	(2) 稲嶺県政の行政実績と評価について		
	ア 企業誘致と雇用の確保について		
	イ 中国上海事務所の開設と利活用について		
	ウ 福州事務所の利活用状況はどうなっているか。		
2	行政改革等について		
	(1) 新行政改革システム大綱の内容について		
	(2) 組織、職制について		
	ア 組織・機構の改革によって組織を統廃合し、中間職制を廃止し職務権限を強化し付与していったことには一定の評価はできるが、県民の間からは業務と組織名、職制がはっきりしないとの指摘がある。どう思うか。		
	イ 大蔵研修、建設大学校、自治大学校等の長期研修終了者の利活用状況はどうか。		
	(3) 慰霊の日の休日についてどのように考えているか。なぜに県や市町村職員だけの休日なのか。改正すべきではないか。		
	(4) 指定管理者制度の導入について		
	ア 社会福祉事業団の指定管理者制度導入に当たって、これまでの12の社会福祉施設を県にかわって受託運営してきた実績についてどのように評価しているか。		
	イ 県は、どういう考えで最終方針の提示に向けて作業を進めているか。		
	ウ 平和祈念公園の指定管理者制度の導入に当たっては、公募によることなく既に各県・団体から霊域の清掃管理を受託している沖縄県戦没者慰霊奉賛会に選定することはできないかどうか。		
3	長寿県沖縄の維持(復活)存続について		
	(1) 保健・医療・福祉の連携強化策はどうなっているか。		
	(2) 食生活の改善及び栄養指導等の普及啓蒙策はどうなっているか。		
	(3) 生活環境等の変化への対応についてどうなっているか。		
4	産業廃棄物最終処分場の確保と公共関与についてはどのように考えているか。		
5	梅雨前線通過後の被害状況等について		



- (1) 佐敷町字小谷に設置されている特別養護老人ホームの被害状況と今後の対応策について
  - (2) 当該老人ホームの収容者への措置費等について
  - (3) 県営一般農道、知念村知念地区内の陥没事故の状況及び補修について
- 6 土地改良事業等について
- (1) 玉城村垣花地域（海側平坦部等）の土地改良事業の実施についてどのように考えているか。
  - (2) 玉城村字垣花在の樋川の整備及び進入路等の整備についてどのように考えているか。
  - (3) 大里村字大城在の大城ダムの整備及び背後地のかんがい排水設備の整備促進についてどのように考えているか。
- 7 モノレールの延伸について
- (1) 本島中南部への延伸を図り、定時・定速運行の確保を図ることについてどのように考えているか。
  - (2) モノレールとバス事業との連携を図り、一体的な県民の足の確保を図る方策を考えてはどうか。

# 一般質問通告表

平成17年第3回沖縄県議会(定例会)

07月05日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	岸本 恵光(自民党)	知事 関係部局長
質 問 要 旨			
1	港湾問題について		
	(1) 北部拠点港湾について		
	ア	本部港は鹿児島定期航路と伊江島航路が就航し、北部地域の住民生活や経済活動を支える重要な役割を果たしている。しかし、現在の施設は狭隘なため、農林水産物が那覇まで陸上輸送で本土出荷されコスト高になっている。また、流通の拠点、観光リゾートの振興に資する港湾を目指した「本部港湾振興ビジョン」が策定され、今後の施設整備に地元は大きな期待を寄せているが、北部地域の拠点となっている港湾として本部港の早期整備が必要と考えているが、県の方針はどうなっているのか。	
2	農業問題について		
	(1) 沖縄県農業振興計画について		
	ア	地域特性を生かした振興を図るためのアクションプログラムとして農林水産業振興計画が策定されているが、計画期間の平成14年度から平成16年度までの3カ年計画の達成率はどのようになっているか。	
	イ	本計画の実現に具体的な対策を明確にし、計画的な推進のため進捗状況等について点検、適切な進行管理を行うことになっているが、平成14年から16年の効率的・効果的な施策展開がなされていたか。	
	ウ	昭和60年から農業粗生産額が1000億円台で推移し、平成10年から900億円台に後退している。農業は自立経済構築の重点事業の一つに位置づけられており、今後の対策について伺う。	
	エ	さとうきびは沖縄県全域で栽培され、全耕地面積の約50%、全農家数の71%を占め基幹作物となっており、土地改良や機械化農業が進行しながら、平成元年生産量178万トンから平成16年には68万トンに大幅な減産になっており、甘味資源特別措置法の適用を受けている立場から国からの指摘はないのか、またその要因を伺いたい。	
	オ	さとうきびは、高率補助や農村総合整備事業で土地改良やかんがい施設整備事業によって機械化農業が進行しながら、反収が県平均5.95トンと低い。反収が増加しない要因と対策を伺う。	
	カ	さとうきび生産のコスト高の要因には、収穫費が高く、特にハーベスター使用の場合約25%も収穫費がかかっており、もっと低コストの機械利用の対策はないのか。	
	キ	近年、カラスやヒヨドリ、タイワンシロガシラ等の農作物被害が多く、農家の意欲減退にもなっている。県はその被害実態を把握されているのか。今後のカラス対策をどのように考えているか。また、特にミカン被害はヒヨドリにあるが、その対策に取り組んでいないのはなぜか。	
	ク	農産物の生産目標は、台風やかんがい等気象条件にも影響されるのは当然だが、県は短・中期的な生産計画を振興計画に示すことが重要と考えるが、なぜ作物ごとの生産計画がないのか。	

- ケ 土地改良事業やかんがい排水事業が推進される中で、防風林・防潮林の植林事業がほとんどなされていない。確かに建ぺい率が高くなるということが考えられるが、毎年襲来する台風や離島県としての潮害対策が不可欠と思うが、今まで実施されていない要因と今後の取り組みについて伺いたい。
- コ 昭和30年代から40年代に雇用効果が高く一大ブームを巻き起こした沖縄の基幹作物パイナップル産業は、ピーク期約6万トンもあった原料が自由化の波に押し寄せ今では約1万トンに減少している。今の原料価格からして、加工作物では成り立たず、フルーツ(果物)として生産し、特に県がこれまで以上に販路拡大に取り組んでほしいがその考えはないのか。
- サ パイン青果キロ当たり、フルーツ出荷167円から271円が高く、加工原料は38.8円(奨励金含む)と非常に低く採算が合わない。現在約1万トンの原料であっても夏実の果実生産量が多く加工出荷に回るのが多い。エスデル剤処理によって春実・秋実出荷に栽培指導をしてはどうか。
- シ 現在のパイン工場加工施設ではコスト高になり、農家収入を増加させるには小規模加工施設をつくり、缶詰にはせずにテトラパックにして低コスト生産によって販路拡大を図ることが望ましいがどうか。
- ス 農作物の拠点産地としての認定は安定的な生産・出荷体制の確立にも重要なことだが、認定後はその地域にどのようなメリットがあるか。

### 3 林業行政について

#### (1) 県土保全の防風林、防潮林造成整備について

- ア 国では「地球温暖化防止森林吸収源10カ年対策」を策定し、二酸化炭素等の吸収量の確保に向け森林の整備、保全を進めているが、沖縄県の取り組みと計画を伺いたい。
- イ 防風・防潮林は、農作物や家屋、道路等を保全する極めて重要な社会資源であり、島々を取り巻く海岸防潮林の計画的な造成・管理・保全は県政の重要な行政課題と思うが知事の見解を伺いたい。
- ウ 海岸防潮林の整備計画と進捗率はどうなっているか。また、造成整備が必要な面積のうち未整備面積は幾らか。
- エ 暴風や季節風等により防風機能が低下し、再整備が必要な面積と年度平均造成整備面積は幾らか。
- オ 衰退するモクマオウ防風林をフク木やテリトボク等の防風機能の高い恒久樹種へ転換させる調査研究を行っているか。実験しているとすれば、その進捗状況を伺います。
- カ 現在の県林業試験場を林業の視点だけではなくさまざまな機能を持つ森林全体を調査研究する機関として、県民に理解しやすい森林研究センターに改称した方が望ましいと考えるがどうか。

### 4 観光振興について

#### (1) 高速バスの運行を国営記念公園までの延長について

- ア 沖縄の観光客はリピーターが年々増加する中で公共バス利用が不便と指摘されている。年間300万人内外が入園する国営海洋博記念公園までどうして高速バスの運行ができないのか。
- イ 現在、那覇空港から名護バスターミナル間の運行を記念公園まで延長する必要性を県は考えたことがないのか(延長によって利用客数の増加と利便性の向上につながると思われるが)。

- ウ 現在の4つのバス会社で運行ができなければ路線権を有し、しかも北部は共同運行している琉球バス、沖縄バスを記念公園まで運行できないか。
- (2) 国道58号から那覇空港へ通じる沿道美化について
- ア 観光立県の表玄関としてもっと花木を植栽し沿道を美化して、暖かい離島県の特徴をつくり出すため、1年じゅう花を咲かせてほしいが。
  - イ 樹木も沖縄らしさがないと指摘されているが、今後、具体的な沿道美化整備計画を国道管理者へ要請してほしいが。
  - ウ 国道泊交差点から新都心に向け100メートルの地点にある植栽ますも花木植栽を行い美化すべきと考えるが国道管理者へ要請してはどうですか。
- (3) バス・タクシー乗務員のかりゆしウェア着用について
- ア 常にお客を相手にするバス・タクシー乗務員のマナーは、その地域の印象をよくもするし悪くもする。かりゆしウェア着用を求める考えはないか。

# 一般質問通告表

平成17年第3回沖縄県議会(定例会)

07月05日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	吉田 勝廣(県民の会)	知事 関係部局長
質問要旨			
1 米軍基地問題等について			
(1) 在沖米軍の現状について			
ア 在沖海兵隊の施設、①北部訓練場、②キャンプ・シュワブ、③キャンプ・ハンセン、④キャンプ・マクトリアス、⑤キャンプ・フォスター、⑥普天間飛行場、⑦キャンプ・キンザー等の現状について明らかにされたい。また、①兵員数、②主な所属・部隊名、③主な装備(演習場の存在するところは演習の内容)、④日本人従業員数・軍属数、⑤賃貸料、⑥地主数等について明らかにされたい。			
イ 在沖米軍で在沖海兵隊の占める割合について、面積・兵員数・日本人従業員数・人件費・賃貸料はどうなっているか。			
ウ 在沖海兵隊の任務について			
(ア) 1972年以前と以後において任務に変更があったのかどうか。			
(イ) 現在の任務と活動について明らかにされたい。			
エ 米国本土内における海兵隊の配置と兵員数を明らかにされたい。			
オ 在沖陸軍の現状について			
(ア) トリイ通信基地の兵員数と役割、主な所属部隊名を明らかにされたい。			
(2) SACOについて			
ア 現状の進捗状況の説明と問題点を明らかにされたい。			
イ 今後の県の方針について伺う。			
ウ 象のオリの移設によって、町内の電磁波調査のときの最終処分場、焼却炉の建設及び県道104号線の湖面等の近くへの移設(提案)、億首ダム等の建設に影響を及ぼしているが、その内容について明らかにされたい。			
(3) 米軍の再編問題について			
ア 米軍の再編問題について、県は千載一遇のチャンスと位置づけ負担軽減を求めているが、次のことを明らかにされたい。			
(ア) これまでの要請行動に対する政府及び米国政府の対応について			
(イ) 米国内の動き。			
(ウ) 日本国内(沖縄を含む)の動き。			
(エ) 韓国の動き。			
(オ) グアムの動き。			
イ 国内における米軍と自衛隊との共同使用施設について明らかにされたい。			
(ア) 基地名。			
(イ) 地位協定の条項は。			
(ウ) 使用期間。			
ウ 自衛隊との共同使用について知事の所見を伺う。			

- エ 再編に向けて、今後の見通しと方針について知事の所見を伺う。
- (4) 都市型訓練建設問題について
  - ア 県は新たな基地建設は認めないと主張しているが、移設を容認した背景は何か。
  - イ 暫定使用は地域住民に危険はないのか。政府はないから実施させるとしているが、移設と矛盾はないのか、知事の所見を伺う。
  - ウ 移設は米軍にとって2つの施設が使用可能となり、実質的な基地の機能強化だと判断するがどうか。
  - エ 移設先はレンジ16の「奥」と説明しているが、県は場所を想定して県民に明らかにすべきだと思うがどうか。
- (5) 水陸両用車及び水陸両用戦車の事故について
  - ア 事故の経過と今後の対策について
  - イ 区域外演習被害の補償について
  - ウ 当て逃げに対する県警の捜査について
- (6) 基地内における米軍人・軍属等の事件・事故の件数と取り扱いについて
  - ア 件数は。
  - イ 事件の処理に関して、日米地位協定の適用があるのか。法的根拠を明らかにされたい。
- (7) Yナンバー車両の取り扱いについて
  - ア 車庫証明の発行・廃車手続についてはどうなっているのか。
  - イ 任意保険について加入率と脱退率はどうなっているか。
- (8) PCB等の処理について
  - ア 九州地域の状況についての説明を伺いたい。
  - イ 汚泥等を含むPCBの処理については、新たな工場を建設しそこで処理するという方針と聞くが、今後の見通しについて伺う。
- (9) 自衛隊員による殺人事件等について
  - ア 経過と自衛隊員の任務について（2つの事件）
  - イ 児童相談所が相談を受けた内容及び対応、保育所の対応について報告されたい。
  - ウ 被害者補償についてはどうなっているのか。
  - エ 自衛隊員のこれまでの不祥事事件について明らかにされたい。
- 2 教育問題について
  - (1) 高校教育について
    - ア 志望校をふやす新しい入試制度を実施したが、その理念と区域別について伺う。
    - イ 第一志望校及び第二志望と、前年度と比較した結果はどうなっているか。
    - ウ 過去5年間における中途退学者について明らかにされたい。
    - エ 今後の学校経営・整備計画について

- (ア) 北部地域における高校の統合問題と、高校運営のため必要な定員確保の見通しについて伺う。
- (イ) 冷房施設が設置されていない高校の件数と設置の見通しについて伺う。
- (ウ) 高校に対する市町村及びPTAの支援について、整備・車両・図書費・派遣費等と思われるが、範囲、制限等があるのか伺う。

オ ミニスカート問題について

- (ア) 校則を徹底するためにこれまでどのような指導をしてきたのか。
- (イ) ミニスカート問題に関しての先進的な事例校はあるのか。
- (ウ) 外国でも高校生等の服装が犯罪を触発するとして問題になっているが、外国の事例があれば報告されたい。
- (エ) 服装の指導は重要だと認識するが、今後の対策を伺う。
- (オ) PTA及び地域との連携はあるのか。

カ 携帯電話について

- (ア) 携帯電話等の使用について、どのように指導しているのか。
- (イ) 授業時間中にも携帯電話の使用が問題となっているが、実態について明らかにされたい。

(2) 義務教育について

ア ミニスカート問題について

- (ア) 最近、中学生も高校生の影響でミニスカートが目立ち始めたが、これまでの指導方法を明らかにされたい。
- (イ) PTA、高校生との連携はあるのか。

イ 性教育について

- (ア) 指導方法を説明されたい。
- (イ) 中学生の性行動の実態を説明されたい。
- (ウ) 今後の方針について、教育長の所見を伺う。

(3) 社会教育について

ア コンビニ等における雑誌等の配列についての実態調査を行ったことがあるか、あれば明らかにされたい。

イ 地域では、交通安全指導、夜間補導、車道清掃など地道な努力をされている方が多いが、調査されたことはあるのか。

3 北部地域の課題について

- (1) 平成12年10月「明日を拓く北部の農林水産業振興ビジョン」を作成し、関係当局へ要請したが、これが県の農林水産業振興計画に反映されているか明らかにされたい。
- (2) パイン生産農家等の危機が叫ばれて久しいが、これまでの対策と今後の方針を伺う。
- (3) 松くい虫の松を伐倒した後に植栽の必要があると思うが、県の対策を求める。
- (4) 県立北部病院の産婦人科・小児科等の医師不足が深刻化し、住民に不安を与えているが、今後の対策を明らかにされたい。

- (5) 金武町に建設が進められている億首ダムの進捗状況、見通し及び金武バイパスの進捗状況と見通しについて伺います。また、屋嘉地区内、漁港施設に建設された不法建築物が撤去されないのはなぜか、明らかにされたい。

4 我が会派の代表質問との関連について



# 一般質問通告表

平成17年第3回沖縄県議会(定例会)

07月05日(火)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
8	17分	照屋 守之(県政会)	知事 関係部局長
質 問 要 旨			
1	自立型経済確立に向けて。 (1) 中城湾港地内及び県内への企業立地。 ア 現状及び実績。 イ 今年度の見込み。 (2) 建設業界の支援。 ア ワンストップサービスセンター設置による支援。 イ 国及び県との連携による支援。		
2	合併市町村への支援について (1) 県の特例債活用による合併市町村のまちづくりの支援。 (2) 総務省合併交付金による支援。		
3	米軍再編における沖縄県の基地のあり方について (1) 基地の整理縮小は県民の総意(特に普天間基地の移転)として推進すべきである。 (2) 一方では基地を提供している地主の意向として、さらには働く人の立場から雇用及び経済的な側面から継続的な使用も大きな要望としてある。 (3) この両面の課題にどのように対応していくか。		